



創立147周年

11月号(令和2年10月30日発行)

kurosyou-dayori

鉄小だより

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kurogane/> 横浜市立鉄小学校

秋の空を見上げて

副校長 金田 貴子

昭和39年(1964年)の東京オリンピックの開会式が10月10日に開催されたのは、東京の夏の暑さを避け、かつ、秋の長雨が終わる時期の中で統計上晴れの日が多かったから、とのこと。過去20年間の横浜の10月10日の天気を調べたところ、1日の降水量が1mm以上だった日が10回ありますが、そのほとんどは朝までの雨、または夜になってからの雨で、日中に1mm以上の雨が降ったのはわずか2回でした(気象庁HPデータ参照)。晴れの特異日というのはその通りのようです。

今年かというと、台風の接近に伴い10月7日から雨が降り始め10日は大雨。12日にはさ立て、13日に全校稲刈りを予定していましたが、何度もお天気サイトを確認しながら、台風の進路はどうなっただろうか、12日は晴れるという予報が変わっていなさうか、田んぼはどのくらいぬかるんでいるのだろうかかと心配しました。幸い、というか天気予報通り12日、13日は晴れ、かなり足元がぬかるんだ中でしたが、坂田清一さん、静江さんのご指導のもと5年生を中心に全校児童で稲刈りを終えることができました。5年生の脱穀も、予定していた日の天気予報が雨ということで、急な変更になったものの、持ち物の準備等、各ご家庭の協力もあり、無事に行うことができました。9月30日に2年生が金子茂文さんのご指導で野菜の苗と種を植えた翌10月1日は午前中が雨。昨年、植えた直後の大雨で大根の種が流れてしまったことを思い出しましたが、今年には元気に芽が出て一安心。

学校の様々な行事や日々の教育活動には、天気に関わってくることがよくあります。およその場合は、「晴れてよかった」となるのですが、理科や生活科では雨の日だからこそ、雲が出ているからこそできる活動があります。教職員は、チャンスが来ればいつでも活動に取り組めるよう準備し柔軟に活動を行います。近年の夏は、晴れているものの暑すぎて外で活動できないということが多くなり、その日の気温の上がり方を調べ3・4校時に予定していた活動を1・2校時に変更したという日もありました。

さて、11月22日(日)の鉄リンピック(運動会)に向けて練習が始まりました。今年度は、体育館屋体改修工事のため、桐蔭学園小学部グラウンドをお借りしての実施です。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、参観は保護者と未就学児、学校運営協議会の皆様に限っての開催になります。例年とは違う形での開催ですが、応援団は手拍子や動きを工夫し、学年の演技ではダイナミックな動きで華やかさや力強さを演出するなど、応援して下さる方々に鉄のパワーを感じていただこうと頑張っています。

11月22日の過去20年の天気は、晴れの日が一番多いようです。当日は爽やかな秋晴れの下、心に残る鉄リンピックが行えるよう、教職員一同子どもたちと共に頑張りがら、空を見上げ、天気をチェックする日々は続きます。